

科名 外科
 対象疾患 大腸癌(治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌)
 プロトコール名 Pmab+XELOX(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	パロノセトロンパッグ アロカリス デキサート ファモチジン注 ネオレスタール注	0.75mg 235mg 4.95mg 20mg 10mg	30分かけて					
3	点滴注	側管	ベクティビックス 生理食塩水	6mg/kg 100mL	60分かけて	↓				
4	点滴注	側管	オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 500mL	2時間かけて ルートごと変更	↓				
内服 カベシタピン 1回1000mg/m ² を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬										

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2-4にデカロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

<オキサリプラチン>

- ・ オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)
- ・ オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)
- ・ デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。

<ベクティビックス>

DLT: 皮膚障害、下痢

使用にあたってはRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

ベクティビックス投与時は投与前後に生食でフラッシュし、インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること

ベクティビックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。

2回目以降に重度のinfusion reactionを発現することもある。

ベクティビックス投与開始前に皮膚科依頼をし、皮膚障害のコントロールについて連携を図ること。

<カベシタピン>

14日間内服7日間休薬

1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA)<1.36m²は1200mg/回(4Tab)

1.36m²≤BSA<1.66m²は1500mg/回(5Tab)

1.66m²≤BSA<1.96m²は1800mg/回(6Tab)

BSA≥1.96m²は2100mg/回(7Tab)